

【分配金のお知らせ】

2016年2月26日
野村アセットマネジメント株式会社

「野村PIMCO・グローバル・アドバンテージ債券投信 Aコース/Bコース」の 2016年2月25日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村PIMCO・グローバル・アドバンテージ債券投信 Aコース/Bコース」(以下、ファンド)の2016年2月25日決算の分配金を以下の通り決定しましたのでご案内いたします。

「Aコース」(為替ヘッジあり)については、実質的な投資対象である新興国債や投資適格社債が軟調に推移していること、為替ヘッジコストの上昇などを背景として、基準価額が10,000円を下回る水準で推移していることから、分配金を30円から10円に引き下げることにしました。一方、「Bコース」(為替ヘッジなし)については、前回決算の分配金額から変更はありません。

「Aコース」の分配金引き下げの背景については、次ページをご参照ください。

【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	Aコース (為替ヘッジあり)	Bコース (為替ヘッジなし)
分配金額 (前回決算)	10円 (30円)	20円 (20円)
決算日の基準価額	9,441円	10,474円
決算日の基準価額(分配金再投資) (前回決算)	11,803円 (11,759円)	13,171円 (13,829円)
分配金額設定来累計	2,350円	2,270円

前回決算:2016年1月25日、設定来:2009年6月26日以降

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

————— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —————

【分配の方針】

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【「Aコース」の分配金引き下げの背景】

「Aコース」の基準価額は、設定来(2009年6月26日以降)概ね10,000円を上回る水準で推移してきましたが、2015年7月下旬以降10,000円を下回る水準が続きました(図1)。

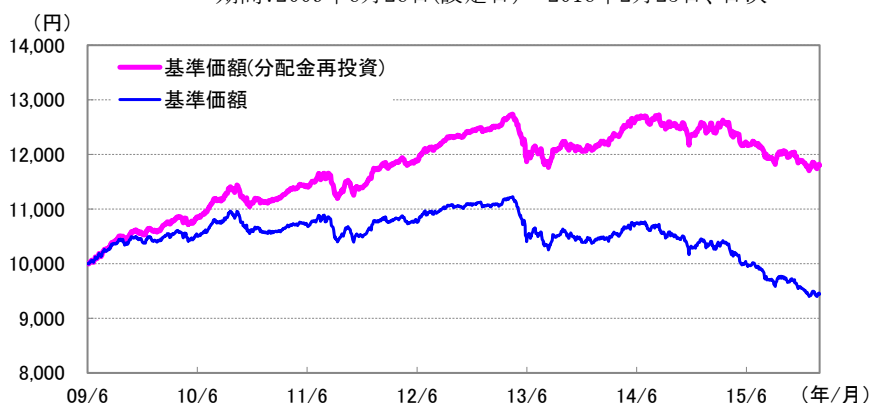
基準価額下落の主な要因は、2015年半ば以降、中国の景気減速懸念や原油価格の下落を背景とした一部の新興国国債やエネルギーセクターの投資適格社債などが相対的に軟調に推移したことが挙げられます。

また、米国の利上げに対する思惑から米国の短期金利が上昇し、日本との短期金利差(為替ヘッジコスト(対米ドル))が拡大したことは、為替ヘッジを行なう「Aコース」にとってマイナス要因となりました。特に、2016年1月に日銀がマイナス金利の導入を発表して以降、為替ヘッジコスト(対米ドル)が急拡大しました(2016年1月末現在)(図2)。

このような状況を総合的に鑑み、「Aコース」の分配金を30円から10円に引き下げることにしました。

【図1】 <「Aコース」の基準価額の推移>

期間:2009年6月26日(設定日)~2016年2月25日、日次



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したのとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【図2】 <為替ヘッジコスト(対米ドル)の推移>

期間:2010年12月末~2016年1月末、月次



・米ドルの為替ヘッジコストと米ドル短期金利-円の短期金利、米ドルおよび円の短期金利は1ヵ月Liborを使用。

・上記は簡便法によるものであり、実際の為替ヘッジコストとは異なる場合があります。

(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- **インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行いません。**
- **世界各国(新興国を含みます。)の国債、政府機関債、国際機関債、社債、モーゲージ債、アセット・バック証券、物価連動債、仕組債等およびその派生商品を実質的な主要投資対象*とします。**
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネーマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- **ファンドは投資する外国投資信託において、為替ヘッジを行なう「Aコース」と為替ヘッジを行なわない「Bコース」から構成されています。**
- **各々以下の円建ての外国投資信託「PIMCOケイマン・グローバル・アドバンテージ・ボンド・ファンド」および国内投資信託「野村マネーマザーファンド」を投資対象とします。**

ファンド	投資対象
Aコース (為替ヘッジあり)	(外国投資信託)PIMCOケイマン・グローバル・アドバンテージ・ボンド・ファンド-J(JPY, Hedged) (国内投資信託)野村マネーマザーファンド
Bコース (為替ヘッジなし)	(外国投資信託)PIMCOケイマン・グローバル・アドバンテージ・ボンド・ファンド-J(JPY) (国内投資信託)野村マネーマザーファンド

- **通常の場合においては、「PIMCOケイマン・グローバル・アドバンテージ・ボンド・ファンド」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。**
※通常の場合においては、「PIMCOケイマン・グローバル・アドバンテージ・ボンド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- **運用にあたっては、ビムコジャパンリミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。**
- **ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。**
- **「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。**
- **原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。**
分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行いません。
ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。
*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- **信託期間** 平成31年6月25日まで(平成21年6月26日設定)
- **決算日および収益分配** 年12回の決算時(原則、毎月25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- **ご購入価額** ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- **ご購入単位** 1万円以上1万円単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- **ご換金価額** ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- **スイッチング** 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- **お申込不可日** 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、「ニューヨーク証券取引所」の休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- **課税関係** 個人の場合、原則として分配時の普通配分金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年2月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に2.16%(税込2.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.35%(税抜年1.25%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価値証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★
<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。